

☆放課後子ども教室☆

子どもたちと学校林などに出かけてみると、キタコブシの白い花に続き、エゾヤマザクラも薄い桃色の花を咲かせていました。足元には、エゾエンゴサクやアヅマイチゲなどスプリング・エフェメラルと呼ばれる春植物も花盛りです。天気の良い日が続く、子どもたちは外遊びを楽しんでいます。

4月後半のプログラムでは、手作りビーズの虹色ストラップづくりや、春のオイシイをとって食べる山菜天ぷらづくりのプログラムを行いました。ストラップづくりでは、この春、小学校を卒業した子どもたちが、春休みの間に作るのを手伝ってくれた色紙のビーズを使ってストラップを作成。色の組み合わせを自分なりに考えて真剣につくっていました。中には母の日にお母さんにプレゼントするという子も。上手につくることよりも、自分がこうしたいと思ったように作る楽しさを感じてもらえていたら嬉しいです。



山菜天ぷらづくりでは、身近な自然の中にある山菜を学校林から少しおすそわけしてもらい、自分たちで天ぷらをつくって味わいました。最初は「あんまり山菜は好きじゃない」と言っていた子も実際に山菜を探しに行くと、あっちにもこっちにもある！とおおはりきり。フキの葉、エゾエンゴサク、ギョウジャニンニク、オオウバユリの根。どれもきれいに洗って天ぷらにすると「今日の山菜は美味しい！」と笑顔で頬張っている姿が印象的でした。自分で探す・自分で採る・自分で調理をする・みんなで食べるという過程が、子どもたちの味覚にも影響していたように感じます。後日、保護者の方から「採った山菜の名前を教えてください」「夕飯のときに、天ぷらづくりの話をしてくださいました。とても楽しかったみたいです」というお話をうかがいました。こうした体験活動が子どもたちの自然に対する好奇心や色々なことにチャレンジする気持ちにつながってくれることを願っています。



自分たちで
天ぷらづくり。
お味はいかが？



ギョウジャニンニク、エゾエンゴサク、オオウバユリの球根をゲット☆



5月8日から新1年生の参加が始まりました。みんなで元気にオニゴッコや缶けりなどをして遊んでいます。1年生という後輩が入り、2~3年生がどのように成長していくのかも楽しみです。また、厚真高校のボランティア部の生徒さんが参加してくれたり、中学生になった放課後教室の卒業生が遊びに来てお手伝いをしてくれたりと、小学生から高校生まで世代間交流も生まれています。こうした縦のつながりも大切にしていきたいと思えます。

